

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 信文



■ 市長交際費を調べてみました

合併(平成 17 年 3 月 22 日)を挟んだ平成 16 年度(いずれも決算額。1 万円未満切り上げ)の市長・町長交際費の合計額は 389 万円と高額でしたが、平成 17 年度 85 万円、18 年度 30 万円、19 年度 31 万円、20 年度 13 万円、21 年度 7 万円、22 年度 8 万円、23 年度 6 万円、24 年度 12 万円、25 年度 15 万円、26 年度 40 万円、そして 27 年度は 28 万円でした(平成 28 年度の決算額は監査未了です)。

交際費の大半は、弔電・香典等の慶弔や、企業回りの手土産等に充てています。市民団体の総会や各地のお祭りへの祝儀は、失礼した年が何年もありました。

ちなみに、公表された他市の平成 27 年度市長交際費(1 万円未満切り上げ)は、宇部市 96 万円、周南市 135 万円、美祢市 230 万円、光市 86 万円、柳井市 85 万円となっています。

■ 人口調査によると

本市の人口は、6 万 4,000 人を割り込みそうです。

合併後の本市の人口の推移を、3 月末現在で比較しました。人口調査の統計によると、平成 17 年は 6 万 8,170 人でしたが、平成 18 年は 6 万 7,855 人と減り、平成 19 年は 6 万 7,610 人、平成 20 年は 6 万 7,039 人、平成 21 年は 6 万 6,777 人、平成 22 年は 6 万 6,442 人、平成 23 年は 6 万 6,157 人、平成 24 年は 6 万 5,740 人、平成 25 年は 6 万 5,275 人、平成 26 年は 6 万 4,758 人、平成 27 年は 6 万

4,433 人、平成 28 年は 6 万 4,100 人でした。

このように、おおよそ 3 年間で 1,000 人ずつ減り続けていますが、この人口減少をどう食い止め、反転させ、人口増加に繋げていくか。諦めではなく挑戦が必要だと、いつも自分に言い聞かせています。

■ 産業観光バスツアーへのお誘い

本市は、宇部市・美祢市と組んで、3 市で「大人の社会派ツアー(産業観光バスツアー)」に取り組み、好評を得ています。3 市内の産業界の様子を、今は遺跡となったものも含めて、日帰りバスで見て回るツアーです。コースは 21 種類もあり、ハシゴするファンも増えているとか。全コース食事つき。企業の OB や郷土史家等からなる「産業観光エスコーター」が同行します。各コースとも 20 名前後の少人数で、ガイドも行き届いているそうです。おひとりで、または家族・友人とご一緒に、ふるさつを見直す良い機会になることを期待します。

